

保険料率を 据え置いて 運営致します



健保 だより

デンカ健康保険組合

2月20日にZOOM会議にてデンカ健康保険組合会が開催され、令和6年度予算について審議されました。

令和6年度も医療費、国への納付金が前年度比で大幅に増加し収支は赤字となりますが、積立金を取り崩して収支バランスを確保し、健康保険料率は据え置きます。また、介護保険は納付金額が増加するものの現料率で収

支バランスを確保することができるため、介護保険料率も据え置きます。

医療費並びに納付金は増加傾向にあり、安定的な財政運営確保の為に保険料率の引き上げも想定されます。医療費節減の観点からも詳細な医療費分析に基づき各種施策の企画・実施により一層注力して参ります。

保険料率は据え置きます

健康保険 8.4%

一般勘定

単位:百万円		決算見込	予算	対比
収入	保険料収入	3,617	3,624	+7
	その他	90	80	▲10
収入計		3,707	3,704	▲3
支出	事務費	61	66	+5
	保険給付費	2,035	2,083	+48
	納付金	1,708	1,842	+134
	保健事業費	144	174	+29
	その他	63	124	+61
支出計		4,011	4,289	+278
差引収支		▲304	▲585	▲281
準備金必要額		479	514	+35
財産保有額		3,563	2,977	▲585

介護保険 1.8%

介護勘定

単位:百万円		決算見込	予算	対比
収入	保険料収入	517	521	+4
	その他	5	36	+31
収入計		522	557	+35
支出	納付金	486	506	+20
	その他	0	0	0
支出計		486	506	+20
差引収支		36	51	+15
準備金必要額		41	41	0
財産保有額		42	42	0

